

二次回帰

二次回帰 にじかいき

一般にある量 X と Y の二つの量の関係を実験で求める場合、 X の値を有る一定値 X_1 に固定すると、それに対応する Y の値は一定ではなく、ある値 Y_1 のまわりに分布する。 X の他の値に対しても同様のことが観察される。 X と Y との関係がほぼ二次曲線で表されられると思われるとき、この二次曲線を $Y = A + BX + CX^2$ とする。そして、実験結果にもっともよく適合するように最小二乗法で A 、 B 、 C を決定したとき、これを二次回帰曲線という。

<登録年月>

1998年01月
